



やらまいか

クラブテーマ：新たなチャレンジ、さらなるレベルアップ

会長/柴田浩志 幹事/杉浦節子 会報委員会/吉田 悟・浅野 晋 例会/毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所
事務局/豊川市豊川町辺通 44 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第15回 通算1546回 2018年10月30日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	8/4 修正出席率
		68名	36名	70.8%	93.8%

ゲスト：国際ロータリー第2760地区 地区ガバナー 村井總一郎さん 地区幹事 佐々木利政さん

ビジター：佐藤裕彦さん、松坂良太さん、上村健介さん、岡田直樹さん、浅倉伸治さん、大塩啓太郎さん（豊橋）

ガバナー公式訪問合同例会

★会長挨拶

柴田浩志会長



こんにちは。
例会に先立ち
まして「会
長・幹事懇談
会」で、村井
ガバナーより
優しくご指導
を賜りました。

ありがとうございました。村井ガバナー、佐々木地区幹事、地区スタッフの皆さん、豊橋ゴールデン RC 福沢会長をはじめ多くの皆さん、遠路お運びいただきまして誠にありがとうございます。これまで豊川宝飯 RC は、蒲郡 RC とガバナー公式訪問を開催して参りました。今年はいじめて豊橋ゴールデン RC との合同例会ということでございます。どうぞ宜しくお願い致します。

豊橋ゴールデン RC とは 10 数年前、高校生ボランティアハートネットワークのご縁でご指導をいただき、我がクラブも「ボラン・コラボ・穂の国 7 (セブン)」を立ち上げてまして今も活動を致しております。その節には、たいへんお世話になりました。

今日は初めての方がたくさんお見えですので、豊川宝飯 RC について少しご紹介をさせていただきます。

当クラブは 1985 年に豊川 RC のスポンサーを持ちまして設立されました。今年で 34 年目を迎えます。

豊橋ゴールデン RC も今年 30 周年を迎えるということでございます。同じような歴史を積み上げてきたのではないのでしょうか。現在、会員数は 68 名、このところ増強がうまくいっているといいましょうか、3 年未満の新会員が 16 名おります。4 年未満まで伸ばすと 20 数名となります。たいへん新会員が多く平均年齢も 58.9 歳ということですので若い方になるのではと思います。新会員がたくさん増えますと今までのロータリーの古いメンバーからすると「少しロータリー精神が足りないぞ」「出席の気持ちが弱いぞ」というご意見をいただいております。そのあたりはメンバーが多くなってくると課題かなと感じております。

本年度、これまでに行った事業をひとつご紹介させていただきます。豊川市が豊川海軍工廠跡地に平和公園を開園することになりまして、30 周年の記念事業の際に公園に桜を寄

贈しました。昨年、造成がほぼ終わり桜の贈呈式（植樹式）を行いました。今年の6月にオープン致しました。毎年8月には慰霊祭を行っているのですが、それに合わせて公園のPRを行おうと地区の補助金をいただいてそのPRの会を行いました。過去、豊川海軍工廠では2,700名の方々がお亡くなりになったということで、2,700個のローソクを立てたかったのですが、昼間しか公園が使えないということで2,700個のLEDキャンドルを使って、弾薬庫の跡にハートマークと平和の象徴であるハトのマークを心を込めて並べました。その際、先ほどの高校生のボランティアの皆さんにもお手伝いをいただいて、図案や設置まで高校生の皆さんのご協力をいただきました。高校生の皆さんにとっても昔を振り返るいい機会になったのではないかと思います。

今年は、豊橋RCから村井ガバナーが選出され、地区の大きな行事である「地区大会」が蒲郡で開催されます。そしてもう一つの大きな事業「地区研・修協議会」の主幹を当豊川宝飯RCが務めます。本年度で平成も終わり、新しい元号が始まるという後世で覚えやすい、記憶に残り易い1年だと思えます。「新たなチャレンジ、さらなるレベルアップ」を今年の方針に掲げ、会員一同、個人のレベルアップをしてクラブのレベルアップを図って参りたいと活動しております。「地区研修・協議会」には関係の皆さんにはご協力を賜りますようお願い申し上げます。

★会長挨拶 福沢省吾豊橋ゴールデンRC会長



くお願い申し上げます。

村井総一郎ガバナー、佐々木利政地区幹事ようこそお越し下さいました。豊川宝飯ロータリークラブ、豊橋ゴールデンロータリークラブ会員一同心より歓迎申し上げます。また、先程のガバナーを囲んでの懇談会では楽しく有意義なロータリー談義を行うことができましたこと、感謝申し上げます。

本日のガバナー公式訪問に際し、合同例会のホストクラブとして豊橋ゴールデンロータリークラブ会員40名の出席の取りまとめをしていただきました柴田浩志会長をはじめとする豊川宝飯ロータリークラブの皆様には大変お世話になります。豊川宝飯ロータリークラブは私たちのクラブより2年前に創立しました兄貴分のクラブであり、個人的には日頃公私ともご指導を頂いております大先輩の大沢茂樹さんや青年会議所時代に私の前の愛知ブロック協議会の副会長を担当されました高桑耐さんがおみえになられるなど大変親しみを覚えるクラブであります。

私共豊橋ゴールデンロータリークラブは、1988年10月28日、豊橋ロータリークラブをスポンサークラブとして誕生し本年創立30周年を迎えます。本年度はこのクラブ創立30周年を“始まりの終わり”と位置付け、クラブ方針を『創始の心で未来を築こう、ベテランの智慧と若い力を結集して！』とし、会員一人ひとりが、今、クラブがロータリーの精神に基づいて本当に正しい方向に動いているかを確認する方策として3つのテーマ①初心忘るべからず ②ロータリーの目的 ③クラブの運営スタイル「不連続の連続」を掲げました。今を生きる会員がこのテーマに基づき善き先人となって未来の輝く活力に満ちたクラブへの懸け橋となるよう活動しております。そして46回の例会はひとつひとつを“和やかな雰囲気”“心のこもった食事”“味のあるスピーチ”を合言葉に「ロータリーシネマ論の考え」で運営しております。この考えは例会を運営する理事会、クラブ奉仕委員会、卓話者の任務を映画製作チームの役割に置き換えて例会を担当することであり、ここで大事なことは“主役は会員”であり、出席した会員が親睦を図りながら、ロータリー精神を培うことができるように努めることあります。

今日のガバナー公式訪問は、地区とクラブがお互いに相手の立場になって知り合い、そしてガバナーが掲げる地区活動方針のひとつであります区内交流を図る最良の機会であります。私たち豊橋ゴールデンロータリークラブ会員一同、豊川宝飯ロータリークラブの皆さんとガバナー公式訪問を大いに楽しみたいと思えます。

★バナー交換

分区内交流で両クラブのバナー交換が行われました。



★ガバナー講話



皆さん、こんにちは。会場にいっぱいの方が集まって頂きましたたいへん嬉しく思います。

卓話に入る前に、ここに珍しいもの（点鐘用の鐘）が置いてあります。この説明をさせていただきます。

これは日本のロータリー創立 100 周年を記念してできました記念のゴングです。日本のロータリー、言葉を換えれば、東京ロータリークラブができて来年でちょうど 100 年になります。その 100 周年の実行委員会が作った鐘がこの 2760 地区に贈られてきたのです。鐘の台座には銘板がございまして、名古屋 RC



から愛知三州 RC まで地区内の 85 クラブの名前が刻んであります。つまり 2760 地区のゴングです。使い方に指定がございまして「ガバナーが公式訪問に行く時にこれを持って行き、そして会長



さんに叩いていただく」ということです。今日は、豊川宝飯 RC と豊橋ゴールド RC の 2 クラブの合同例会ですので、最初と最後にそれぞれのクラブの会長さんに叩いていただくことができます。私自身は一度も叩いておりませんが、地区大会の時に初めて叩くことになると思います。これが 8 kg ちょっと重さがあります。これに木槌などをセットにしてアルミのケースに入れると 10 kg ちょっとになります。できる限り多くのクラブを回りたいたいと思ひまして、1 日に昼と夜の 2 回例会に出席して卓話をするというダブルヘッダーの計画を組みました。8 月の暑い頃、渥美 RC と豊橋南 RC の合同例会が伊良湖の先端にあるホテルであり、そこでゴングをチンと叩いたあと、名古屋に移動しまして中部名古屋みらい RC の夜の例会に参加しました。また、先日は豊川 RC と蒲郡 RC の合同例会後に一宮中央 RC の夜間例会に出席したりもしました。夏の暑い日、大雨の日などにもこの鐘を一生懸命に運んでくれた佐々木幹事さんにはたいへん感謝しております。

RI 会長からガバナー公式訪問では、テーマを説明するように要請されています。今日は受付時に配布したテキストがございまして、1 番から 16 番までのページ番号に従って説明をさせていただきます。

RI 会長テーマ「インスピレーションになろう」です。警察官になろう、弁護士になろう、保母さんになろうなら職業ですからわかります。「インスピレーションになろう」、その養成講座や育成講座があれば良いのですが、「インスピレーションになろう」は分かりにくい日本語です。バリー・ラシンさんというパハマという島国の方がこのテーマを掲げられました。今からこの「インスピレーションになろう」ということを解説してまいります。

このマークですがカリブの海と太陽を表現

してしまして、躍動感あふれるものになっています。去年のRIの直前会長イアン・ライズリーさんのテーマは「ロータリー：変化をもたらす」でした。これはロータリーというのは、ロータリアンの一人ひとりが、ロータリーの一つひとつのクラブ、一つひとつの活動が、ロータリーが地域社会で、ひいては国際社会に対して、変化（変革）をもたらすことができる可能性や資質のある団体であることを「ロータリー：変化をもたらす」に込めたのです。これを受けてバリー・ラシンさんは「ではどうしたら良いのか?」、それはロータリアンの一人ひとり、ロータリークラブの一つひとつ、ロータリーの活動の一つひとつがインスピレーションになれば良いと言われたのです。「インスピレーションになろう」と「インスピレーションを感じよう」の解釈には違いがあることをご理解いただければ、今日の卓話が意義のあるものになると思います。

ラシンさんは「一番大切なのは、私たちが『インスピレーション』となる必要がある」と言っています。つまり、インスピレーションとは刺激となり前進の活力となるということをご理解ください。

Inspireは「鼓や太鼓を打って舞を踊って、祭りや戦の士気を高める」という“鼓舞する”という意味。要するに、前進する活力になるということです。

〇〇する人になろう。PETSの際、会長さんには〇〇にどんな言葉を入れますか?と申し上げました。地区大会では85クラブの会長さんのお考えをパネルにして紹介したいと思えます。

さて、インスピレーションを“感じる”とインスピレーションに“なる”の違いについて。ちょっと想像してみてください…。公園を散歩しているとします…。そう少しで見晴らし台があるとします。見晴らし台に着いたら休もう、景色がいいから写真と撮ろうと思っています。しかし、その手前に大きな石やベンチがあったので、ちょいと腰を掛けてしまします。水をグビッと飲んだり、ハンカチで汗を拭いたりします。「あ～、気持ちいい。もうここで休んでしまおう」と思ったその時に、一陣の風がスッと首筋を通り抜けます。「ああ、そうだ。私はここで休むのではなく、見晴らし台まで行って休むんだ」と思い出し歩き出しました。…“前進”を致しました。前進の活力をくれたのは何でしょうか? 風

であります。私はその風を受けたのです。その風は私を動かそうとして吹いた風ではありません。私にとっては、その風が私に歩を進めさせるインスピレーションになったわけがあります。このインスピレーションになろうというのは、皆さん方に“風になって欲しい”ということでもあります。風になって周りの人を動かす、周りの人を前進させるような、そういう刺激のあるようなことをやってくださいということなのです。

ここに鐘があります。先ほどの点鐘でその音色が最後部の方までいい音で響いたと思います。「いい音だった…」そう思った方はインスピレーションを“感じた”方です。ここでいう「インスピレーションになろう」とは“鐘になりましょう”ということなのです。ロータリーの一人ひとり、ロータリークラブの一つひとつがこの鐘になって、ここから発するものによって周りの人に影響を及ぼし、地域社会に活力を与えていこう、動かそう、前へ進めさせよう、そういうことが「インスピレーションになろう」であります。

インスピレーションは感じる側（受け手）の問題ではなくて、感じてもらう（送り手）をイメージして「インスピレーションになろう」という言葉が出てきているのではと私は思っているのであります。では、このインスピレーションになるのはどこでしょうか。

あなたの街でインスピレーションになりましょうということ。地区大会は蒲郡で行います。名古屋のホテルではありません。豊橋からガバナーが輩出されました。私は蒲郡の街でロータリーを！蒲郡の街からロータリーを！と考えました。市民会館での開催なので、ホテルと違い多くの方の協力が必要となり準備が大変です。しかし、名古屋のホテルと同等、それ以上のおもてなしをしてロータリーの心を示したいと思えます。ぜひ多くの方にご参加いただき、浅田先生の講演を最後までお聞きいただければ、本当に嬉しく思っております。宜しくお願いします。

ロータリーには高潔性や倫理性があります。単に「あなたの幸せが私の幸せ、あなたの喜びが私の喜び」ではありません。正しいことを正しくしましょう、みんなのためになるようなことをしましょう、それが四つのテストであります。

例会場は人と人が出会う場であります。その場を大切にしましょうということ。思

いやりの心、思いやりの心を持つこと、それを例会の場でも学んでいただきたいと思います。可哀そうな人を見て何とかしたいと思うだけでは“思いやり”ではないです。思いやりの心とは、手を差し伸べて実践をしてこそ初めて思いやりが完結をするのであります。ロータリーは奉仕の理念を学んだら奉仕の実践をきちっとすることに意義があるのです。それには仲間が必要です。例会は仲間作りの場所なのです。ロータリーの目的に「知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること」とあります。たくさんの名刺交換をすることではなく、集いに参加して心の友、仲間を作るのです。そのためには親睦が必要です。親睦と親睦活動は違います。ゴルフ、マーじゃん、カラオケ、旅行、これは親睦活動です。それを通じて奉仕をする仲間、奉仕の心の友をいっぱい作って、その奉仕を広げていくのです。それがロータリー活動ではないでしょうか。ポールハリスは4人が集ったところから始まりました。ロータリーソング『奉仕の理想』にも、♪奉仕の理想に集いし友よ〜とあります。ロータリーは集いであり、例会が持たれるから皆さんが来るのではなく、皆さんが集まって集うからそこで例会をしようということなんです。それがロータリーの基本です。同じ心を持つものが集まり、お互いに理解しあって、仲間を増やして、実践をしていこうよ、これが無くては私はロータリーではないのではないかと、単なる娯楽団体、サロン団体にしかならないと、そのように思っております。

分区内交流のことです。“良い所”を見よう、“悪い所”ではなく。ロータリーには寛容の精神、多様性があります。これは自分が気に入らないことや間違っただけを黙認することではありません。他人の見解や行為に対して、寛大な心を持ってそれを受け入れようということです。

いろいろなクラブ、いろいろな会員がいることを理解して付き合っ、奉仕をする仲間を増やしていこうということです。「あれは違う」「これは違う」、よそのクラブに行って「あんなことやったらダメだ」「あのクラブは合わないな」そんな批判をしに行くのではないです。「あのクラブのあそこが良かった」というのを見て、自分のクラブに少しでも役に立て、そして仲間を作る、それが分区内交流です。今回、遠距離のクラブ同士を組み合わせ例

会のスケジュールを組んだところ、最初のご意見もありましたが、今ではお互いに行き来をする答礼例会としてあちらこちらで行われています。

そろそろお時間です。寛容の精神で受けて欲しいのですが、間違っていることは間違っているよとロータリアンは教えてあげましょう。友愛の精神です。しかし、先方が話を聞かずに怒り出したらどうしよう・・・、怒らないように、そのために親睦活動をしましょうということです。心の友、心を開いた友をたくさん作っておきましょう、そしてロータリーを楽しく過ごしましょう。

2760地区であと3つのクラブの訪問を残すのみですが、私は思いました、色々なクラブがあるな、色々な個性や特徴があるなと、それを活かした地区にならないかな、そんなふうに思います。『花壇の花はいろいろあるから美しい』、各クラブのそれぞれの花がお互いにインスピレーションになりながら、きれいな大きな立派な花が咲く、こんな2760地区を願っております。

さあ今日から、今から皆さん、インスピレーションになりましょう、と結びまして私の卓話とさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。



★お礼の言葉

大沢茂樹パスト会長



ご紹介を頂きました、豊川宝飯RCの大沢でございます。当クラブでは最年長で77歳です。

今日は村井

ガバナー、地区幹事他の皆様が豊川にお出かけいただきまして、今年の分かりにくいロータリーのテーマ「インスピレーションになろう」という話を実にわかり易くお話を頂きました。“風になろう”など非常に良い言葉だと思いました。ありがとうございました。

当クラブは豊川 RC の子クラブとして 33 年前に創立致しました。創立時の会長は小野光男さんで、創立当初から「みんな仲良く」という言葉ばかりを言っておりました。私、当時の初代幹事でありまして、何もわからないけれども「みんな仲良く」だけは非常に言葉に残っております。当クラブ、相当珍しいと思いますが、この 4.5 年に大幅にメンバー、会員の数を増やしております。おかげで若い人たちが非常に多くいます。皆さん明るくて年長者を大事にしてくれますので、大変うれしく思っております。ますます、これからも仲良くしていただきたいなと思っております。

福沢会長とはいつも仲良くして頂いておりました、福沢会長さんが率いる豊橋ゴールデン RC の皆さんが、今日わざわざ豊川まで来て頂いたことを本当に嬉しく思います。今日はたいへん良いガバナー公式訪問例会だったと思っております。ありがとうございました。以上で御礼のことばと致します。

高桑 耐会員

村井ガバナー、地区幹事のご来訪を歓迎

柴田浩志会長

ガバナーの公式訪問の歓迎と豊橋ゴールデン RC との初合同例会

杉浦節子幹事

〃

★会長幹事懇談会

例会に先立って、ガバナーとの懇談会が行われました。クラブ運営に関して、色々とおアドバイスを頂きました。ありがとうございました。



★ニコニコボックス

村井ガバナー	公式訪問ニコボックス
佐々木地区幹事	〃
佐藤裕彦さん	メーキャップさせて頂き
松坂良太さん	〃
上村健介さん	〃
岡田直樹さん	〃
浅倉伸治さん	〃
大塩啓太郎さん	〃



会報担当：吉田 悟会員・浅野 晋会員